

○基本設計について



かわら版 Vol.3 では、建築の基本設計と保護者説明会について紹介するら！

様々な方のご意見をもとに検討を重ね、敷地内の建物の配置や校舎内の教室等の基本設計として決定しました。基本計画から一部を変更し、より快適な環境に設計されています。今後の実施設計では基本設計をもとに、詳細を検討していきます。**※実施設計において、一部変更となる場合があります。**

外観イメージ



配置図

■駐車台数

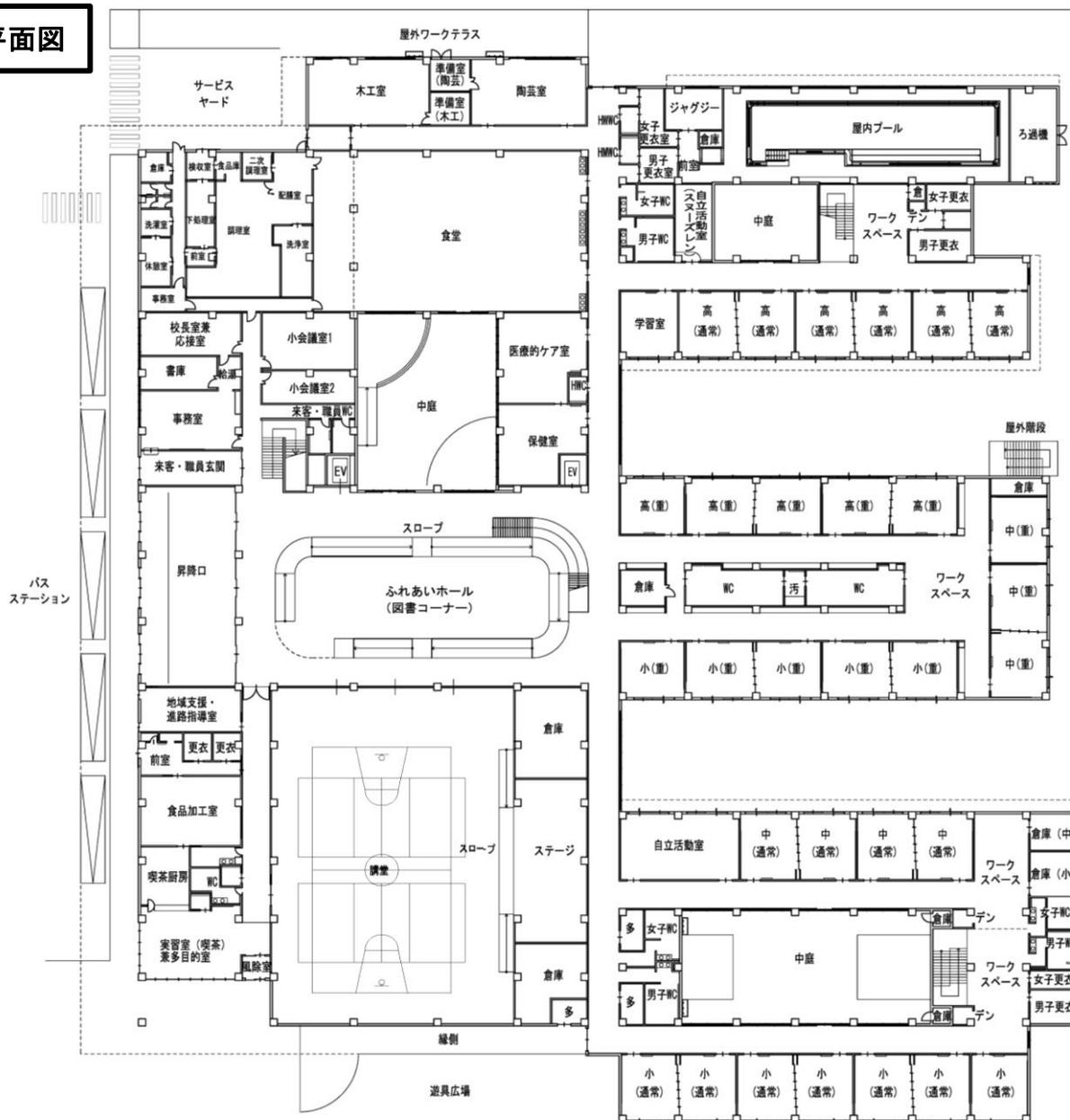
種別	台数	その他
来客用駐車場1	13	内、車いす駐車場 6台
来客用駐車場2	42	
職員駐車場	125	
合計	180	

■延べ面積

1階延べ面積	7,657㎡
2階延べ面積	5,353㎡
延べ面積合計	13,010㎡



1階平面図



～ 地域とつながる特別支援学校 ～

基本計画から校舎とグラウンドの位置を入れ替え、校舎を南側に寄せることで、校舎の南西部分に配置した地域交流の拠点となる「地域開放エリア」が南側道路からアクセスしやすい空間になりました。

地域開放エリア 体育館（講堂）、喫茶コーナー（喫茶実習室）、遊具広場、地域支援・進路指導室

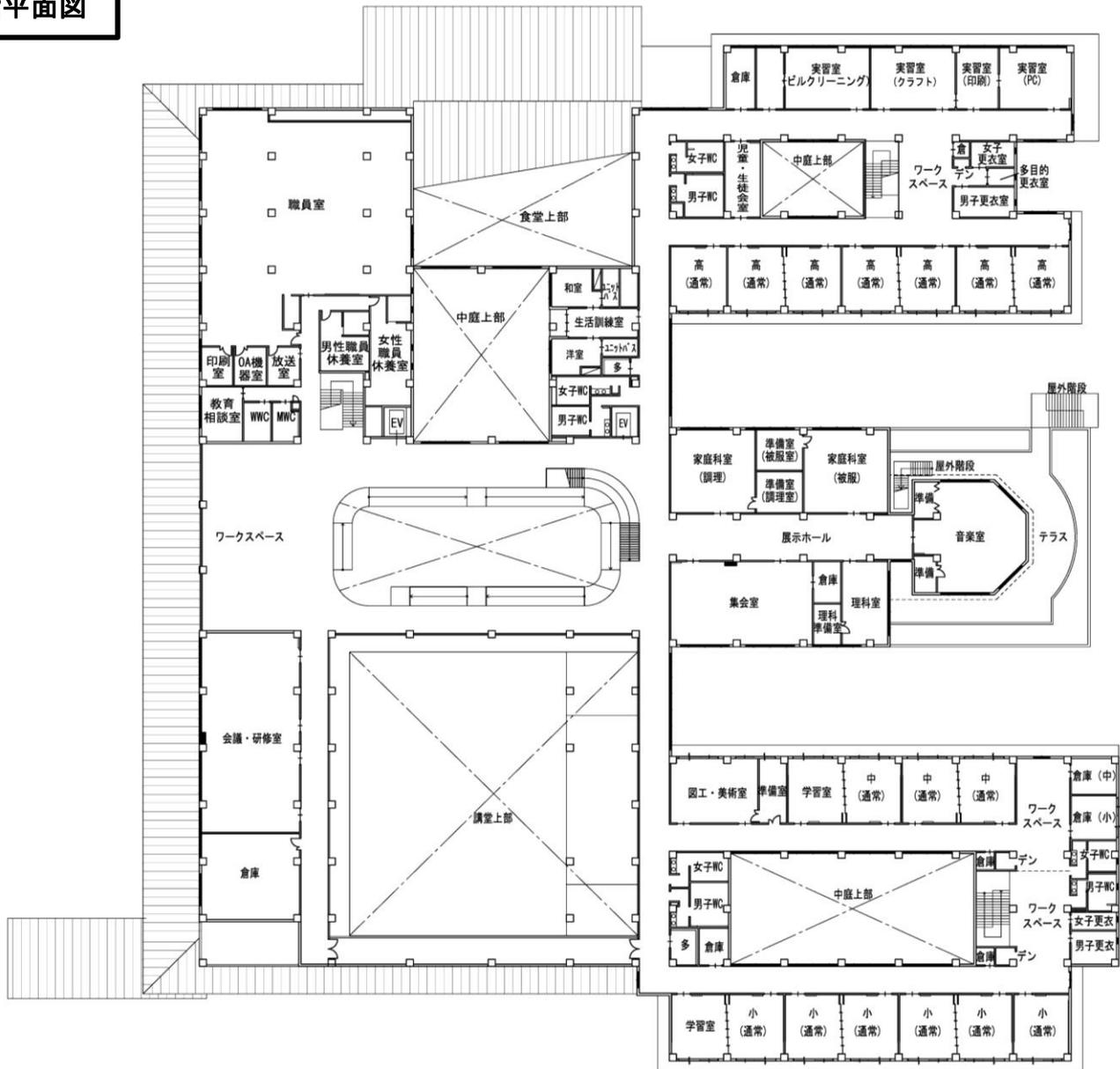
◆特色ある施設

- ・喫茶コーナーでは、職業教育の一環として生徒たちが作ったお菓子やコーヒーを、生徒たち自身の手で提供します。地域の方にお客様としてお越しいただくことで、地域とつながる場となります。
- ・体育館はバスケットボールコートが正規寸法で取れる広さで、のびのびと活動できます。
- ・遊具広場にはインクルーシブ遊具を設置し、様々な障がいの子どもたちが思い切り遊べる場所にします。
- ・体育館や遊具広場は、夜間や休日に地域の方々に開放します。

◆周景になじむ外観

- ・八木三山のふもとに位置し、中山道鶴沼宿にも近い場所であるため、学校の周囲全体を緑で囲むとともに、日本の伝統的な建築物を連想する勾配屋根とし、周囲の田園風景や山並みに溶け込んだ親しみやすい外観デザインです。

2階平面図



～ 安心・安全なゆとりある教育環境 ～

基本計画を見直し、より安心・安全で専門的な教育を十分に行うことのできる環境を設計しました。

◆児童生徒の実態に応じた専門的な学習ができる学校

- ・暑い日や雨の日にも安心して入れる2.5mの室内温水プールとジャグジープールを設けます。
- ・重複障がいのある方などにも効果をあげているスヌーズレンが行える部屋を常設します。
- ・生活自立を目指した宿泊訓練ができる生活訓練室を設けます。
- ・将来の社会自立を目指して、ものづくりを中心とした学習ができる木工室や陶芸室などの作業実習室を設けます。

◆安心安全な環境

- ・医療的ケアが必要な児童生徒のために看護師を配置し、主治医と連携して医療的ケアが実施できる体制を整えます。
- ・温かい給食を自校で調理します。児童生徒が集まって給食を食べられる広いランチルームも設けます。
- ・多くの教職員や来客に対応できる広い駐車場と、雨天時の乗降に配慮し屋根をかけた十分なスペースのバスステーションを設けます。保護者送迎用にも、屋根のある車寄せスペースをバスの動線と交差しない位置に設けます。
- ・緊急時には児童生徒や地域の福祉避難所として活用できるよう、自家発電装置など防災設備を導入します。

○保護者説明会の実施

令和3年11～12月にかけて、開校時に就学の可能性がある保護者の方等を対象に、初回の保護者説明会を実施しました。市内各地区の小中学校、近隣の特別支援学校、福祉の里、各務原市産業文化センターの会場に合計で120名のご参加をいただき、事業の進捗状況の説明や質疑応答を行いました。

いただいた主なご質問等を紹介します。



【転学・就学について】

Q：学校間の引継ぎはどのようになりますか？

A：学校間の引継ぎは、個別指導計画をもとにして継続的な指導ができるように対応していきます。手続きは、保護者説明会等でご意向を伺いながら教育施設整備推進室を窓口に進めていくこととなります。時期が近付けば、在籍中の小中学校や特別支援学校からも案内をさせていただく予定です。

Q：現在、市外の特別支援学校に通っていて、「開校時に最高学年である」「別の学校のほうが近い」「慣れているので通い続けたい」などの場合も、新しい学校へ移らなければならないのですか？

A：新各務原特別支援学校ができると、県が示す各務原市内在住者の就学・進学先は、原則、新各務原特別支援学校になります。そのため、途中の学年等であっても開校時に転学していただくことをお願いしたいと思います。特別な事情で別の学校への就学を希望する場合は、県に申請を出し、認められた場合に可能となります。個別の事情があれば、ご相談ください。

【スクールバスについて】

Q：公共交通機関が不便な場所は、スクールバスの停留場所について、歩いて10分以内の距離になるよう配慮いただきたいです。

A：できる限り配慮させていただきます。一方で、バスの定員や利用を希望されるであろう児童生徒のニーズを見込むと大型バス5台を整備予定であり、大型バスを安全に停車でき、バス停まで送迎する保護者の車も停められるスペースを確保する必要があります。これらの条件や安全に走行できるルートを検討しながらコースを決定していきます。

【現在の各務原特別支援学校について】

Q：開校時に現在の各務原特別支援学校にいる2年生や3年生は、卒業までそのまま残るのですか？

A：開校後は、全員が新各務原特別支援学校に通学します。



Q：現在の各務原特別支援学校の校舎は、新各務原特別支援学校開校後はどうなりますか？

A：まだ次の用途は決まっていません。しかし、現在の各務原特別支援学校として残ることはなく、学校としての用途はすべて新各務原特別支援学校に移行することになります。

その他のご質問等は市ウェブサイトにて公開しております。今回の保護者説明会でいただいたご意見等は、今後の設計やソフト面の整備の参考とさせていただきます。

また、令和4年度以降も随時、保護者説明会を開催し、情報の周知等に努めていきます。

新特別支援学校の建設について市ウェブサイトで公開中！みなさんのご意見も募集しております。
QRコードはこちらから⇒



【お問合せ先】

各務原市役所 教育委員会事務局
教育施設整備推進室 ☎058-383-7302 (直通)